

令和6年度 小児生活習慣病予防健診の結果(概要)がまとまりました。

1 健診の目的

小児生活習慣病のハイリスクの子どもの早期発見と児童・生徒及び保護者に対して効果的な健康教育を実施し、将来の生活習慣病の発症を予防する。また、小児生活習慣病予防健診結果をもとに、子どもの生活習慣病の実態を把握し、今後の改善策や予防策を検討するための基礎資料とする。

2 健診の概要

対象	小学校 4 年生	中学校 1 年生
参加事業者	17 市町、香川大学教育学部	14 市町、香川大学教育学部
参加人数	6,765 人	2,811 人
調査項目	身長、体重	
	血液検査（糖代謝、脂質、肝機能に関係する 8 項目） HbA1c、総コレステロール、LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、AST、ALT、 γ -GTP	
	生活習慣調査（食事、運動、睡眠、家族歴等に関する 17 項目）	

3 主な結果

◆ 小学校 4 年生

- 検査結果について
 - ・ 肥満傾向（男子 14.5%、女子 10.8%）、痩身傾向（男子 2.0%、女子 2.6%）
 - ・ 脂質異常（男子 11.3%、女子 11.8%）
 - ・ 脂肪肝リスク（男子 3.9%、女子 2.4%）
- 増加傾向にある生活習慣
 - 食事（夕食後の間食をほとんど毎日食べる、果物をほとんど食べない）
 - 運動（情報メディア等の利用時間が 2 時間以上、徒歩による通学時間が 20 分以下）
- 男女共に肥満傾向（肥満度 20% 以上）と関連がみられた生活習慣
 - 食事（はやく食べる、野菜摂取が少ない、朝食を食べない日が多い）
 - 運動（情報メディア等の利用時間が長い）
 - 睡眠（睡眠時間が短い、就寝時間が遅い）

◆ 中学校 1 年生

- 検査結果について
 - ・ 肥満傾向（男子 13.3%、女子 10.6%）、痩身傾向（男子 2.7%、女子 3.5%）
 - ・ 脂質異常（男子 10.0%、女子 9.7%）
 - ・ 脂肪肝リスク（男子 6.7%、女子 2.1%）
- 増加傾向にある生活習慣
 - 食事（いつもお腹いっぱい食べる、果物をほとんど食べない）
 - 運動（情報メディア等の利用時間が 2 時間以上、筋力トレーニングを行っていない）
- 男女共に肥満傾向（肥満度 20% 以上）と関連がみられた生活習慣
 - 食事（はやく食べる、「適正体重になるように食べる」に気がついていない）
 - 運動（有酸素運動や筋力トレーニングをしていない）
 - 歯磨き（夕ご飯後または寝る前に歯磨きをしていない、歯磨きを 1 日 2 回以上していない）

※中学校 1 年生の健診は受診生徒が県全体生徒数の約 4 割であったため、健診結果は県全体を示すものではありません。
また、令和 3 年度から新たに 1 実施主体が対象に加わり令和元年度及び 2 年度とは対象が異なります。
※血液検査に異常値がみられたものであっても、ただちに治療が必要であることを意味するものではありません。
将来、生活習慣病にならないために、健診をきっかけに生活習慣の見直しを呼びかけます。